

第100回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	当	座	売	掛	金
仮	払	金	仮	受	金	未	収	入	金	消
備		品	建		物	買	掛	金	未	払
所	得	税	預	り	金	当	座	借	越	
給		料	租	税	公	課	支	払	運	賃
旅	費	交	通	費	売		上	繰	越	商
								品	現	金
									過	不
									足	

1. 三村商店に対して掛けで販売した商品のうち、一部に破損があったため、¥ 20,000 の値引を承諾した。
2. 小田切商店は、取引先から商品 ¥ 100,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、取引銀行と当座借越契約（借越限度額 ¥ 200,000）を結んでおり、現在の当座預金残高は ¥ 30,000 であった。ただし、当座取引は当座勘定のみで処理している。
3. 所得税の源泉徴収額 ¥ 50,000 を税務署に現金で納付した。
4. 従業員の出張にあたって、旅費として概算額 ¥ 100,000 を現金で渡した。
5. 1 台当たり ¥ 100,000 の事務用パソコンを 8 台購入し、代金のうち ¥ 200,000 は現金で支払い、残額は来月末に支払うことにした。その際、引取運賃 ¥ 30,000 を現金で支払った。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	売 上	20,000	売 掛 金	20,000
2	仕 入	100,000	当 座	100,000
3	所 得 税 預 り 金	50,000	現 金	50,000
4	仮 払 金	100,000	現 金	100,000
5	備 品	830,000	現 金	230,000
			未 払 金	600,000

・解説

- 売上値引に関する問題です。
掛販売したものを売上値引する場合は、**販売時の逆仕訳**をするだけです。

売上戻り・売上値引に関する問題は、第114回の間3や第123回の間5、第144回の間1でも出題されているので、あわせてご確認ください。
- 当座取引に関する問題です。
当座取引の処理に関しては、【当座預金勘定と当座借越勘定を使う2勘定制】と【当座勘定のみを使う1勘定制】の2つがありますが、この分野は日商簿記検定3級の頻出論点なので、どちらの処理も必ず押さえておきましょう。

本問の場合、問題文に「**当座取引は当座勘定のみで処理している**」と明示されているので、**1勘定制**を採用していると判断して処理します。

★解答・当座勘定のみを使う1勘定制の仕訳
(借) 仕入 100,000 / (貸) 当座 100,000

☆参考・当座預金勘定と当座借越勘定を使う2勘定制の仕訳
(借) 仕入 100,000 / (貸) 当座預金 30,000
(貸) 当座借越 70,000

当座取引に関する問題は、第103回の間5や第104回の間2、第105回の間1、第114回の間5、第121回の間5、第122回の間2、第125回の間5、第129回の間1、第133回の間1、第134回の間3、第135回の間5、第136回の間5、第137回の間1でも出題されているので、あわせてご確認ください。
- 所得税の源泉徴収に関する問題です。
本問のように「すでに切った仕訳を前提とする問題」は、一度仕訳を書いて考えてみると分かりやすいです。

☆参考・給料支払時の仕訳（すでに切った仕訳）

(借) 給料 50,000 / (貸) 所得税預り金 50,000

★解答・預かっていた所得税を納付するさいの仕訳

(借) 所得税預り金 50,000 / (貸) 現金 50,000

所得税の源泉徴収に関する問題は、第 101 回の問 3や第 102 回の問 4、第 106 回の問 5、第 109 回の問 2、第 117 回の問 4、第 121 回の問 2、第 128 回の問 4、第 130 回の問 3、第 131 回の問 4、第 140 回の問 4、第 142 回の問 2、第 143 回の問 5、第 145 回の問 5でも出題されているので、あわせてご確認ください。

4. 仮払金に関する問題です。

旅費の正確な金額は、従業員の出張後でなければ把握できないので、とりあえず**一時的に仮払金で処理**しておき、旅費交通費の正確な金額が判明したときに、仮払金を旅費交通費に振り替えます。

その後、旅費交通費の正確な金額が確定し、旅費を精算する場合の仕訳が問われる場合もあります。参考までに仕訳をご確認ください。

☆類題①…仮に旅費が 150,000 円だった場合の仕訳

(借) 旅費交通費 150,000 / (貸) 仮払金 100,000
(貸) 現金 50,000

☆類題②…仮に旅費が 50,000 円だった場合の仕訳

(借) 旅費交通費 50,000 / (貸) 仮払金 100,000
(借) 現金 50,000

仮払金に関する問題は、第 100 回の問 4や第 115 回の問 5、第 119 回の問 4、第 124 回の問 4、第 129 回の問 4、第 146 回の問 5でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 固定資産の購入に関する問題です。

建物や車両、備品、土地などの固定資産を購入したさいに、不可避免的に発生した費用（付随費用）は**購入原価に含めて処理**します。本問の「**引取運賃 ¥ 30,000**」も、購入原価に含めて処理しましょう。

購入代価 = 8 台 × @100,000 円 = 800,000 円

付随費用（引取運賃） = 30,000 円

購入原価 = 購入代価 800,000 円 + 付随費用 30,000 円 = 830,000 円

なお、商品売買取引以外で発生した未払債務 600,000 円（= 830,000 円 - 230,000 円）は、**未払金**で処理します。うっかり買掛金で処理しないように気をつけてください。

■商品売買取引に伴い発生した未収債権・未払債務 → 売掛金・買掛金

■商品売買取引以外で発生した未収債権・未払債務 → 未収入金・未払金

固定資産の購入に関する問題は、第 101 回の問 4や第 106 回の問 1、第 109 回の問 3、第 113 回の問 3、第 116 回の問 2、第 118 回の問 2、第 123 回の問 3、第 128 回の問 5、第 129 回の問 2、第 132 回の問 3、第 139 回の問 2、第 143 回の問 4、第 145 回の問 4、第 148 回の問 4、第 150 回の問 1でも出題されているので、あわせてご確認ください。